

平成23年度 看護部教育計画

研修名	目的	目標		対象者	開催月
新人研修	当院の組織の一員として自覚をもち基本的看護が実践できる。	1. 看護部の理念や方針を理解し、看護職員としての自覚をもつ。 2. 看護に必要な共通の知識・技術をもつ。	《新採用時研修》 ①講義 ②演習	新採用者	4月
		1. リアリティショックが軽減できチームの一員として看護する喜びが見出せる。 2. 事故防止に留意した援助の重要性が理解できる。	《3ヶ月研修》 ①講義 ②グループワーク	新採用者	6月
		1. コミュニケーション(対人関係)について学ぶ。 2. 感染予防に留意した援助の重要性が理解できる。	《8ヶ月研修》 ①講義 ②グループワーク	新採用者	11月
		1. 1年間の振り返りを行い、2年目の課題を明確にする。 2. ケーススタディについて学ぶ。 3. 点滴静脈注射に対する知識・技術を学ぶ。 4. 目標管理の実際を知る。	《1年目研修》 ①1年の振り返り ②講義 ③演習 ④目標管理の説明	新採用者	2月
		事例を発表することができる。	* 事例発表会	2年目	11月
2か月研修	新採用者が大阪厚生年金病院の臨床現場に、より円滑に適応できる基本的看護の知識・技術を習得する。	I C U : 急性期にある患者の基本的看護を習得し、各部署の看護展開に活用できる。 脳外科病棟 : ストロークユニットにおけるチーム医療を理解し、病棟看護師の役割を学ぶ。 手術室 : 周手術期における手術看護の実際を学び、各部署の看護展開に活用できる。 治療検査部門 : 治療検査部門の看護を体験し、各部署の看護展開に活用できる。	新採用者	6月～2月	
コア レクチャー	1. 基本的技術としてフィジカルアセスメントの方法を理解する。 2. 各科共通している臨床看護技術、医療機器について学ぶ			新採用者	
救急看護	救急場面における看護の役割を習得できる。	《レベルⅠ》 BLSを理解し実践できる。	①講義 ②実習	新採用者	4月
		《レベルⅡ》 ①BLSを実践できる ②ACLSを理解し習得できる。	①講義 ②実習 ③BLS実技テスト	レベルⅡ	11月
	救急場面にいける看護の役割を習得できる。	《レベルⅢ》 ①ACLSを実践できる ②各病棟における「急変時」の課題とその対策の抽出	①実技テスト ②グループワーク	レベルⅢ	9月
	救急場面においてリーダーシップを発揮できるよう知識・技術を習得できる。	《レベルⅣ》 各病棟で起こりうる急変を想定し、シュミレーションの企画・運営の中心になることができる。	①講義 ②演習 ③実践	レベルⅣ	6月
フィジカルアセスメント	患者の全身を正しくアセスメントできる能力を習得する。	《レベルⅠ》 フィジカルアセスメントの目的と意義、必要な基本的技法を習得できる。	①講義	レベルⅠ	
		《レベルⅡ》 フィジカルアセスメントⅠを基本とし、対象事例のフィジカルアセスメントと援助技術について習得できる。	①講義 ②実習	レベルⅡ	7月

平成23年度 看護部教育計画

研修名	目的	目標		対象者	開催月
看護倫理	人間の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重した看護が実践できる。	《レベルⅠ》 倫理の基礎的知識を理解できる。		レベルⅠ	4月
		《レベルⅡ》 倫理的問題に気づき、問題提起できる。		レベルⅡ	6月
		《レベルⅢ》 受け持ち患者を通して、看護倫理について深く考察できる。		レベルⅢ	12月
		《レベルⅣ》 倫理的視野で看護実践を後輩に指導できる。		レベルⅣ	2012年度
看護過程	看護過程を正しく理解し看護診断能力を身につけ患者の個別に応じた看護実践ができる。	《看護過程Ⅰ》 事例を通し、看護診断が導き出せる。	①講義 ②演習	レベルⅠ	6月
		《看護過程Ⅱ》 事例を通し、個別的な看護計画が立案できる。	①演習	レベルⅡ	1月
		《看護過程Ⅲ》 事例を通し、個別的な看護計画が立案できる。（難易度を上げる）	①演習	レベルⅢ	9月
看護記録	情報開示に対応でき、看護実践の見える記録が書ける。	当院の看護記録マニュアルに沿って看護記録が書ける	①講義 ②演習（6グループ）	レベルⅠ	5月
コミュニケーションスキル	《レベルⅠ》 看護者として行動する為のコミュニケーション技法を学び、日々の看護ケアに活かすことができる	1. コミュニケーションの原理・原則を理解する。 2. 看護職者としてのコミュニケーションについて学ぶ。	8ヶ月研修に含む	レベルⅠ	11月
	《レベルⅡ》 コーチングについて学びコミュニケーションを効果的に行うことで患者やプリセプティの持つ素質や才能を見出し自発行動に結びつける効果的な関わりができる力を養う。	1. コーチングの概念を理解する。 2. コーチングの活用のための基本スキル（質問する、傾聴する、観る、伝える）を学ぶ。 3. 演習を通してコーチングを理解する。		レベルⅡ 今年度のプリセプター対象 (次年度のプリセプター候補者は除く)	9月
	《レベルⅢ》 アサーティブネスについて学び、自己・他者との信頼関係を築き、チーム医療が円滑に実践できる力を養う。	1. これまでの対人関係を振り返り新たなコミュニケーションの知識・技術を身につける。 2. アサーティブコミュニケーションの演習を通してこれまでとは違う行動様式を実感する。		レベルⅢ	2月
	《レベルⅣ》 ストレスマネジメントの知識を深め、より良い人間関係づくりができるコミュニケーションスキルの向上を図る。	1. ナースのストレス特性について理解する。 2. ストレスマネジメントについて学ぶ 3. 事例検討をとおしてストレスマネジメントの実際を知る。	①講義 ②演習	レベルⅣ	6月
リーダーシップ研修	《レベルⅡ》 リーダーの基礎能力を養いリーダーシップがとれる。	1. 看護提供方式について理解できる。 2. 日々の看護業務について、リーダーシップがとれる。	①講義 ②演習	レベルⅡ	7月
	《レベルⅢ》 チームの課題達成のためのリーダーシップがとれる。	1. チームリーダーとしての役割機能について知る。 2. チームリーダーとしての自己の課題を明確にし、行動できる。	①講義 ②演習	レベルⅢ	10月
	《レベルⅣ》 看護単位におけるマネジメントについて理解する	患者ニーズとスタッフの能力を考慮し、管理業務を代行できる。	《リーダー研修Ⅳ》 ①講義 ②グループワーク ③院内学習	レベルⅣ	2012年度

平成23年度 看護部教育計画

研修名	目的	目標		対象者	開催月
プリセプター シップ	当院のプリセプターシ ップについて理解し新人 看護師のリアリティー ショックを最小限に留め 新人とプリセプターが共 に成長できる。	当院のプリセプターとしての役割 機能が、理解できる。	《プリセプターシップ》 ①講義	レベルⅡ	1月
		当院のプリセプターの役割を通 し、自己の課題が明確になる。	《プリセプター交流会》 ①プリセプター-Part1 ②プリセプター-Part2	初プリセプター	5月
					10月
臨床指導者 研修	自らの看護観を深め、 より良い看護実践者を 育成するための指導観 を養う。	1. 講義を通して臨床で学ぶことの 意味を考える。 2. 相手を指導するには「自己の 看護観」が確立していることと 「人と関わる力」が重要である ことがわかる。 3. 自己の看護観、指導観を表現 することができる。	Part I	レベルⅢ	8月
			Part II	レベルⅢ	12月
新人教育 担当者研修	新人教育担当者として必 要な基礎知識を習得する。			新人教育 担当者の 任にある者	8月
看護研究	ケアの質向上を目指した 看護研究ができる。		看護研究発表会	看護職員	2月
キャリア 研修	経験に基づいて状況を全 体として把握し看護実践 においてリーダーシップ を発揮できる。	1. 新たな刺激を受けることで自己 を振り返り、今後の課題を見出 すことができる。 2. 客観的に自分の部署を見つめる ことで、今後の課題を見つけ改 善できる。	《院内留学》	4年目以上	5月～12月
感染管理 コース	《レベルⅡ：基礎編》 感染予防対策の基礎知識 を基盤に看護ケアに応用 することができる。	1. 感染予防の倫理的根拠を理解す る。 2. 所属の感染対策に必要な知識・ 技術の向上を図り予防対策を実 践する。	①講義 ②講義 ③テスト		9月
	《レベルⅢ：応用編》 所属部署において役割モ デルとなり感染管理活動 を実践・推進できる。	1. 組織における感染管理システム を理解し、ICNとの協働につ いて考える。 2. 感染対策についてスタッフに指 導できる。 3. 感染予防の視点から所属部署に おける現実的な課題を明確化し ICNと協力して改善策を考え ることができる。	組織における感染管理 システムとICNの 役割について <看護ケア推進室での 1日研修を含む>	レベルⅢ 講義 ICN研修	6月
スキンケア コース	《レベルⅡ》 褥瘡予防・治療の基礎 知識・技術を習得する。 る。	1. 褥瘡予防のためのリスクアセス メントについて理解できる。 2. 褥瘡予防・治療のために必要な ケアの根拠を理解できる。	①講義 ②演習 ③講義 ④症例検討	レベルⅡ 以上	6月
	《レベルⅢ》 褥瘡ケアの実践において リーダーシップを発揮す ることができる。	1. 褥瘡ケアを通して患者の身体的 精神的・社会的な状況に応じた 看護計画を立案できる。 2. 主体的に褥瘡予防・治療の看護 を実践し、後輩の育成に活かす ことができる。	①グループワーク ②WOC研修	レベルⅢ 以上	6・7月
重症集中 ケアコース	人工呼吸器装着中の患者 のアセスメントができ、 看護を展開する知識・技 術を習得する。	《レベルⅢ》 ①呼吸器系のアセスメントが できる。 ②酸素療法について理解できる。 ③人工呼吸器について基本的な 知識を習得することができる。 ④人工呼吸器装着中の患者の看護 についての知識・技術を習得 できる。	・人工呼吸器装着の 看護について ・集中治療室での1日 研修を含む	レベルⅢ	9月

平成23年度 看護部教育計画

研修名	目的	目標		対象者	開催月
在宅看護コース	患者・家族の背景を捉えた退院計画が立案でき、主体的に退院調整に関わる実践能力を養う。	1. 退院計画に必要な知識を習得できる。 2. 退院計画について理解できる。 3. 看護上のニーズを理解し、入院から退院後の生活を見通した退院計画が立てられる。	MSW講演会	レベルⅢ	9月
がん化学療法看護コース	がん化学療法によって生じる有害事象とその対策を理解し、患者のQOLを向上させるために応用する。	1. がん化学療法の安全・確実な取り扱いについての基礎的な知識と方法を理解する。 2. がん化学療法を受ける患者のQOLを向上させるための看護について理解する。 3. 所属部署で行われるがん化学療法を受ける患者の看護に必要な知識と技術の向上を図り看護実践する。		レベルⅡ 化学療法の経験が2年以上	7月
緩和ケアコース	緩和ケアの基本的な考え方を理解し日常の看護に活かすことができる人材を育成し、院内における緩和ケアの質の向上をはかる	1. 緩和ケアの基本的な考えを理解する 2. 緩和ケアに必要な知識・技術を習得できる		レベルⅢ	1・2月
看護研究	看護の質的向上を目的とした看護研究に取り組める。	《看護研究Ⅰ》 ケーススタディを学び、事例検討に取り組むことができる。	1年目研修に含む	レベルⅠ	2月
		《看護研究Ⅱ》 看護研究の基本的な過程を学び、実際に取り組むための準備ができる。		レベルⅡ	10月
		《看護研究Ⅲ》 看護研究の基本を学び、取り組むことができる。		レベルⅢ	7月
管理研修	管理者として職責を果たすために必要な知識・態度を習得し発展することができる。	看護管理に必要な経営の知識（仮題）	《管理研修》 講義等	看護師長 主任看護師	
講演会	社会の変化を取り入れた新たな幅広い知識を習得する。		①『今年度看護部の方針』	看護職員	4月
			②『災害看護』	看護職員	
			③『防力対策』	看護職員	
			④『看護研究における倫理的配慮』	看護職員	
			⑤『組織と技能の伝承』	新人 プリセプター	6月
2年目看護師研修	看護師としての自己の発達上の課題に気づき専門職業人としての歩みをすすめる。	2年目看護師が思いを語り合い、不安に向き合いつつ、前向きに取り組むことができる。	グループワーク	2年目 看護師	7月
補助者研修	医療チームの一員としての役割を自覚し、補助者としての能力を高める。	1. 体位変換の介助方法を学ぶ 2. 搬送の方法と留意点を学ぶ 3. 患者・家族に対する接遇を学ぶ	①講義 ②演習	補助者 クラーク	